

堆肥センター優良事例（2）

岡山県における循環型農業

－新見市哲多町堆肥供給センターの事例－

1 モデル事例となる事項

- ・原料の水分、畜種ごとの配合割合等を管理徹底することにより、良質たい肥を生産する。
- ・地域の自給飼料増産の取り組みとして、たい肥の供給元として循環型農業の一翼を担当する。
- ・たい肥販売とたい肥散布を新聞で年1～2回PRし、販売拡大を推進する。

2 堆肥センター名称等

- (1) 名 称 新見市哲多町堆肥供給センター
- (2) 所在地： 岡山県新見市哲多町田淵1626番地7
- (3) 代表者名： 小坂 延也
- (4) 運 営 者： (有)哲多町堆肥センター
- (5) 連絡先： TEL 0867-96-2887

3 堆肥センターの設置目的

新見市哲多地域は大型経営の畜産団地化が進んでおり、家畜排せつ物の処理が問題となるとともに、有機農業推進のため良質たい肥の安定供給を求める声が高まった。そこで家畜排せつ物を良質たい肥化し、利用を図ることによって、畜産業の安定的な発展とともに土づくりや有機農業を推進し、地域の活性化に資する。

4 地域の家畜飼養状況（新見市）

畜 種	乳用牛	肉用牛 (肥 育)	肉用牛 (繁 殖)	豚	採卵鶏	ブロイラー
畜産農家数	7戸	9戸	182戸	4戸	7戸	9戸
家畜飼養頭羽数	209頭	1,402頭	1,092頭	10,737頭	193千羽	590千羽

5 利用畜産農家の家畜飼養状況と原料ふん等の搬入量

畜 種	乳用牛	肉用牛 (肥 育)	肉用牛 (繁 殖)	豚	採卵鶏	ブロイラー
畜産農家数	0戸	4戸	1戸	2戸	2戸	4戸
家畜飼養頭羽数	0頭	1,298頭	196頭	7,746頭	194千羽	58千羽
畜ふん搬入量	0t	2,410t	1,084t	629t	1,036t	428t

6 施設概要

施設名：新見市哲多町堆肥供給センター

設置年次：平成8～9年度

補助事業名：環境保全型畜産確立対策事業

処理施設：発酵処理施設：2662m² 1棟（直線型・通気スクープ式）

完熟処理施設：533m² 1棟

袋詰・管理施設：432m² 1棟

発酵期間：5ヶ月間（連続攪拌発酵2ヶ月、堆積発酵3ヶ月）

関連機械：たい肥運搬車3台、たい肥散布車2台、ホイールローダー1台、フォークリフト1台、袋詰機1台

7 モデル事例の具体的説明

稲作農家の副産物である稲わらを、作業受託組織が回収・サイレージ化して、畜産農家の飼料として利用するという、地域の自給飼料生産体制の中で圃場へのたい肥の供給を行い、自給飼料増産と有機資源の循環利用の一翼を担っている。

また、地域でのPRのため、新見市内を配布エリアとする地元新聞に広告を年1～2回掲載している。

8 堆肥センター運営上の留意点

水分65%程度に調整した牛、豚、鶏のふんをバランスよく配合し、半年近く時間をかけ十分に発酵させ、利用者である耕種農家のニーズにあわせた製品を生産することに努めている。

9 堆肥センター運営上の課題と解決方針

機械・施設の経年劣化によるメンテナンス費の増大が堆肥センター運営上大きな負担となっている。

ランニングコストの低減に努めるとともに、メンテナンス費等の施設維持に必要な経費については施設設置者である地元自治体と協定を結び、堆肥センターの負担を抑えている。

(付属資料)



野菜用 春肥 散布実施中

哲多町堆肥供給センター
みのりの友

すずらん堆肥

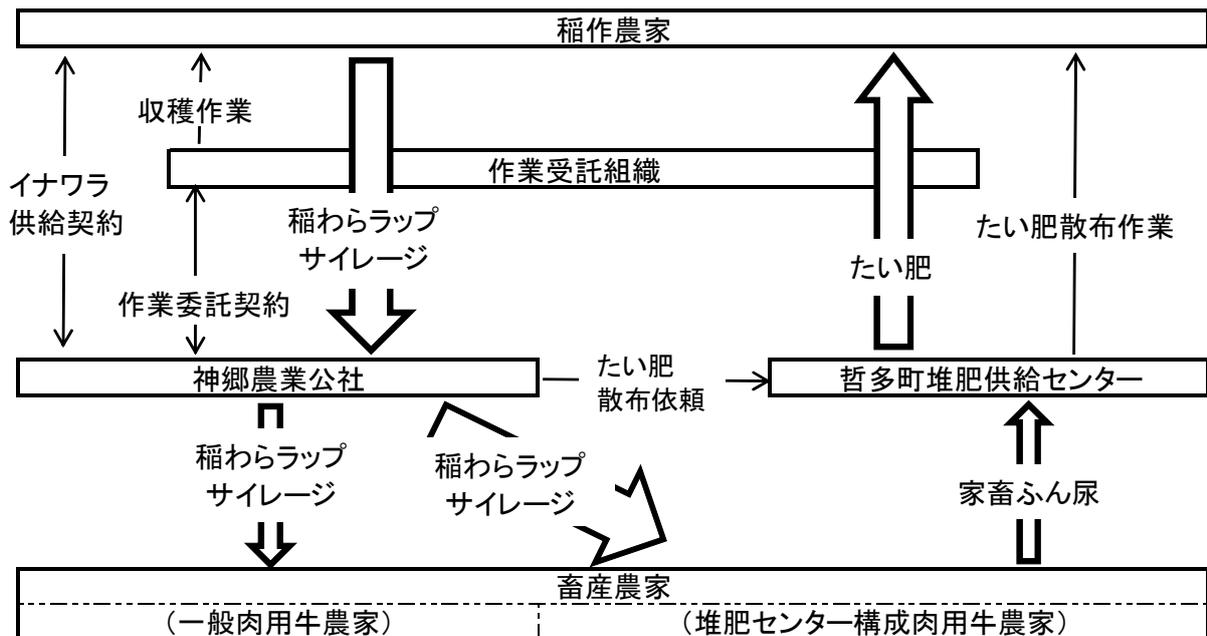
『すずらん堆肥』は、3番種の牛糞・鶏糞・豚糞をバランス良く配合し、180日間発酵させた有機堆肥です。地力を増進させ、安全で美味しい農作物を育てるお手伝いをします。

阿新地区販売価格

製品名	数量	堆肥センター販売価格	宅配・農機販売価格
バク製肥	1トン	3,500円	4,000円
練糞製肥	約17kg(40x)	250円	300円

※バク製肥は1kg(100g)単位でお届けいたします。
発売元 J A 阿新・全農
製造元 (有)哲多町堆肥センター 哲多町田淵1620-7 TEL:06-2887・FAX:06-2887

●お申し込み・お問い合わせ… 阿新農業協同組合各支所までどうぞ



※作業受託組織はオペレーターを提供し、イナワラの収集、サイレージ化、運搬、たい肥の運搬を担う。